

平成27年3月31日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

新志会

会長 菅原 悟



政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、平成26年度政務活動の状況について報告いたします。

記

1. 調査事業

- (1) 実施日 平成26年10月6日(月)～8日(水)
- (2) 場所 新潟市・佐渡市
- (3) 参加者 会長 菅原 悟 事務局長 佐々木一義
会員 鵜浦昌也 伊藤明彦 菅野 稔
(新政会 会長 佐藤信一 会員 小松 眞 2名同行)

(4) 行程

- 10月6日(月) 陸前高田市7:30発～一関～大宮～新潟
～航空自衛隊新潟分屯基地海難隊(視察)
～万代橋・新潟市美術館・北方博物館・日本海タワー・
新津記念館・新潟県政記念館 新潟市内泊
- 10月7日(火) ホテル9:30～新潟港～両津港～両津市役所(研修)
～航空自衛隊佐渡分屯基地(訪問)
～佐渡金山・トキの森公園 両津市内泊
- 10月8日(水) ホテル9:00～両津港～新潟港～新潟～大宮～一関
～陸前高田市18:00

(5) 調査項目

1. 航空自衛隊新潟分屯基地救難隊の救難・救助について



2. 佐渡市の中越地震による風評被害と観光対策について
3. 航空自衛隊佐渡分屯基地第 46 警戒隊の国防・支援について

(5) 調査概要

1. 航空自衛隊新潟分屯基地救難隊の救難・救助について

視察先 新潟市 航空自衛隊新潟分屯基地海難隊

新潟救難隊 総括班長 厨子和範 3 等空佐

航空救難団の任務として

※事故航空機の搭乗員の搜索救助(救難業務)

※人員及び装備品等の空中輸送(空中輸送業務)

※救難業務及び空中輸送業務に関する(教育訓練)

※国民の生命及び財産等を守るための(災害派遣)

プロジェクトで丁寧に説明を受けました。

さらに、格納庫では救難救助機(UH-60J)や救難搜索機(U-125A)の性能・諸元の説明があり、実際に機内に搭乗し搜索・救出方法等の説明を受けてまいりました。

また、東日本大震災の際は、いち早く被災地へ駆けつけていただきましたことに対し敬意と感謝を申し上げてまいりました。

その後、北方文化博物館に立ち寄り全国的にも有数の規模を誇った越後千町歩地主「伊藤家」在りし日のままの豪壮な館に、美術品・民芸品・考古資料を多彩に展示なされ、まさに着地型観光の見本となる施設を研修させていただきました。

その後、(株)栗山米菓ホテル朱鷺メッセ(株)の 31 階にある Befco(ベフコ)ばかうけ展望台にのぼり新潟市全貌が見られる施設を見学いたしました。

夕方に入り本町 6 番町商店街振興組合の万代橋近くの庶民の台所、本町市場を見学し、まさに今後想定している長部漁港周辺への「フィッシャーマンズワーフ」のお手本となる施設を見学しました。

2. 佐渡市の中越地震による風評被害と観光対策について

視察先 新潟県佐渡市議会

議長 根岸勇雄氏 議会事務局長 源田俊夫氏

佐渡市観光振興課課長補佐 越前範行氏が対応

①概要として、佐渡市は平成16年3月 1市7町2村が合併

面積が855km² 周囲 280km 最高峰 1,172m 人口 61,325人
高齢化率37.7歳

※地域産業の低迷

市内総生産は、平成16年では2,239億円だったのが、平成22年には1,913億円と326億円の減となり、さらに拍車をかけている。

※佐渡観光については

豊富な観光資源

1. 世界農業遺産(GIAHS) 小倉地区の棚田(千枚田)
2. 佐渡を世界文化遺産に 佐渡金山・道遊の割戸
3. 佐渡を世界ジオパークに 佐渡小木海岸・神子岩(日本地質百選)
4. 歴史伝統文化 鬼太鼓・妙宣寺
5. 豊かな自然 洞爺湖サミット会場に展示された杉の巨木群
6. トキ野生復帰 36年ぶり自然界でのヒナ誕生(平成24年4月)
38年ぶり自然界でのヒナ巣立つ(平成24年5月)

※佐渡の評価・佐渡観光の入込客数・方面別入込客の推移・外国人

入込客の推移・観光客の入込みは、7～8月の夏季にピーク

広域連携による観光・食に関する取り組み・(参加・体験型)観光・(トレッキング)・(スポーツ観光)・フィルムコミッションによる映画・番組誘致・佐渡の教育旅行受け入れの現状・教育旅行の取り組み・電動アシスト自転車導入について

※佐渡航路について

佐渡航路の概要 ・就航船 ・新潟～両津航路 新造船「ときわ丸」・

小木～直江津航路 新造船のイメージ

※佐渡空路について

2千メートル化が必要な理由・佐渡新潟航空路線について

※佐渡観光の課題と今後の動きについて

◎佐渡観光の課題

1. 観光による経済効果の市民への理解
2. 島内産農林水産物の提供
3. 着地型観光

- ・観光客のニーズ把握と着地型観光プランの発掘・組み立て
- ・地域と結びついた佐渡ならではのプラン
 - 着地型プランと観光客ニーズのミスマッチの解消
- 4. 観光客の季節変動が大きい
 - ・観光客入込の夏期ピークと冬期オフシーズンの変動が大きく、観光施設での通年雇用が難しいため、サービス質の維持・向上が困難・バス・レンタカーについてもオフシーズンが長く、その分の経費をピーク時に上乗せせざるを得ない。
 - 季節変動に対応したおもてなし研修、通年観光への取り組み
- 5. 効果的な観光 PR
 - ・データ分析によるターゲットを絞った効果的な観光 PR
 - ・トキなど全国的な話題に合わせた戦略的な観光 PR
 - 観光関係者による戦略的な PR
- 6. 宿泊施設の更新
 - ・平成3年頃の観光客入込のピークに併せて、島内宿泊施設は大型化したのが、その後の観光低迷で施設投資が遅れている
 - おもてなし向上、佐渡産品の活用による宿泊サービスの高付加価値化
- 7. 観光統計
 - ・観光施設のベースとなるデータ収集

※佐渡観光の今後の動き

1. カーフェリー「おおさど丸」（新潟～両津）の代替船就航
 - ・船賃の低廉化へ
2. 新潟ディステーションキャンペーン
 - ・H25 春プレ DC、H27 春アフタ DC
3. 北陸新幹線開業(H27 春予定)
 - ・小木直江津航路のあり方(高速カーフェリー)
 - ・佐渡周遊型観光(直江津～小木～両津～新潟)
 - ・北陸・近畿・長野・関東からの集客
4. 3つの世界遺産の登録・認定
 - ・世界農業遺産(GIAHS)認定(H23年6月)
 - ・日本ジオパーク認定(H25年9月)

- ・世界ジオパーク登録(H28年目標)
- ・世界文化遺産登録(H29年目標)

※新たな施設整備による魅力発信

- ・両津港北埠頭地区を再開発し、「佐渡インフォションセンター」の平成26年度オープンを目指して整備計画を進めている。
- ・佐渡汽船両津港ターミナルから徒歩5分の位置にあり、観光情報機能と約300人を収容できる多目的ホール、様々な用途に使える催事スペース、佐渡の歴史文化等を伝える展示室を備えた施設と、約6,000㎡の緑地広場を一体的に併設するもの。

※平成26年度 観光振興課 事業施策について

将来ビジョン成長力強化戦略指標の実現

平成31年目標

- ・延べ宿泊数49万2千泊/年 リピート率55% 着地型利用者2万人/年
観光文化施設満足度67% 観光入込数70万人/年 平均宿泊日数1.61泊
- ・修学旅行人数1万9千人/年 外国人観光客5千人/年
合宿誘致延泊数7千泊/年

※目標事項

1. 2つの新幹線を活用した周遊型広域観光の要として「佐渡ブランド」の確立
2. 滞在・体験型観光の確立に向けたアクティビティ群の整備・活用
3. 地産地消の推進と宿泊満足度の向上

※佐渡を世界文化遺産に

「金を中心する佐渡鉱山の遺産群」 道遊の割戸・・・大立堅坑

※佐渡を世界ジオパーク(地質の世界遺産)に

「金と銀の島」佐渡でたどる日本海3000万年、佐渡島300年の旅とひとの暮らし

佐渡金山・青盤脈岩壁(日本地質百選)・佐渡平根崎・波蝕甌穴群(日本地質百選)

3. 航空自衛隊佐渡分屯基地第46警戒隊の国防・支援について

視察先 航空自衛隊佐渡分屯基地

第 46 警戒隊長兼佐渡分屯基地司令 土肥弘昌 二等空佐
第 46 警戒隊副隊長兼総括班長 平形大将 三等空佐
佐渡分屯基地 広報係 児玉春彦 二等空曹

が視察研修に対応していただきました。

土肥基地司令氏へ訪問挨拶を行い、最初に先の東日本大震災に対する災害派遣に対しまして敬意と感謝を申し上げてきました。

基地の会議室で基地の規模や基地の任務について説明がなされ、その内容としては、

1. 日本海方面の警戒監視
2. 冬期除雪
3. 災害派遣への対応(訓練と活動)

その後、山頂に設置されているレーダーを見学しました。

レーダーは、六角柱の建物の 3 つの側壁にそれぞれ巨大なレーダー面があり、その円形の覆いの模様が亀の甲羅のようであり、それにちなみ「カメラレーダー」と呼ばれている。

見学終了後、世界遺産を目指す佐渡金山の道遊の割戸や大立堅坑、相川郷土博物館・技能伝承館・史跡佐渡金銀山遺跡御料局佐渡支庁館等視察、さらには世界農業遺産(GIAHS)である小倉地区の棚田(千枚田)視察し、陸前高田市の着地型観光の推進に糧となるよう研修をさせていただきました。